

2022

第70回 全日本吹奏楽コンクール

第22回 東日本吹奏楽大会

第28回 東関東吹奏楽コンクール

予 選

第62回茨城県吹奏楽コンクール
第35回中央地区大会

〔運営要項〕

一般社団法人茨城県吹奏楽連盟中央地区

第 62 回茨城県吹奏楽コンクール

第 35 回中央地区大会

〈 期 日 〉

令和 4 年 7 月 23 日(土) 中学校の B 部門

令和 4 年 7 月 24 日(日) 中学校の部 C 部門 高等学校の部 B 部門
高等学校の部 C 部門 中学校の部 A 部門

〈 会 場 〉

ひたちなか市文化会館 大ホール
ひたちなか市青葉町 1-1 TEL029-275-1122

〈 主 催 〉

一般社団法人茨城県吹奏楽連盟・朝日新聞社

〈 主 管 〉

一般社団法人茨城県吹奏楽連盟中央地区

〈 後 援 〉

茨城県教育委員会 ひたちなか市教育委員会 茨城文化団体連合
茨城県教育研究会音楽教育研究部 茨城県高等学校教育研究会音楽部
茨城県高等学校文化連盟 茨城放送

組 織

1 役 員

中央地区大会役員	氏 名
中央地区大会会長	仁平 良治
中央地区大会実行委員長	横須賀 義章
〃 副委員長	遠藤 龍郎、岡田 宏之、鎌田 智之
〃 委 員	市毛 彩子、岩浪 麻美、内田 喜嗣、大竹 美路、荻沼 啓一、小田嶋 孝 栗股 靖典、桑名 洸典、小谷 忠、塩谷 直人、首藤 美香 瀬戸山 遼介、長沼 純平、蒔田 宜幸、藤枝 馨子、船山 貴司、宮内 慶樹 山岸 正樹、山口 正男
〃 事務局長	塩澤 恭平
〃 事務局主事	萩庭 宏子

2 審査員(敬称略五十音順)

氏名	専 門	7月 23 日(土)	24 日(日)
太田 友香	クラリネット	○	○
緒形 まゆみ	指揮・指導	○	○
貝沼 拓実	サクソフオーン	○	○
並木 博美	ホルン	○	○
堀尾 伸二	打楽器	○	○

第 62 回 茨城県吹奏楽コンクール第 35 回中央地区大会
実 施 規 定

【期日・場所】

1 期 日

- (1) 令和4年 7 月 23 日(土) 中学校の部B部門
(2) 令和4年 7 月 24 日(日) 中学校の部C部門、高等学校の部B部門、高等学校の部C部門、
中学校の部A部門

2 場 所 ひたちなか市文化会館(茨城県ひたちなか市青葉町 1-1)

【部門及び人員】

3 開催部門

- (1) 中学校の部A部門、中学校の部B部門、高等学校の部B部門
(2) 中学校の部C部門、高等学校の部C部門

※ (1)の部門については、優秀団体を県大会(茨城県吹奏楽コンクール)へ推薦する。

※ 各部門とも同一経営外の団体との合同出場(何校でも可)を認める。ただし、東関東コンクールには出場できない。

※ A部門に参加する団体はC部門に参加できるが、B部門に参加する団体はC部門に参加できない。

※ 前年度コンクール申込時点の部員数調査で、1・2年生部員総数が 36 人以上の団体は、中学校B部門、
高等学校B部門に出場できない。

4 参加人員

- (1) 中学校の部A部門 50名以内
(2) 中学校の部B部門、高等学校の部B部門 30名以内
(3) 中学校の部C部門、高等学校の部C部門 自由

※ 指揮者は参加人員に含まない。

【参加資格】

5 中央地区内に所在していて、本年度総会までに会費納入済みの茨城県吹奏楽連盟加盟団体

6 各部門の参加資格

(1) 中学校の部 構成メンバーは同一中学校に在籍している生徒とする。
(義務教育学校及び同一経営の学園内小学校児童・中学校生徒の参加は認める)

(2) 高等学校の部 構成メンバーは同一高等学校に在籍している生徒とする。
(中等教育学校及び同一経営の学園内小学校児童・中学校生徒の参加は認める)

※ 高等学校再編整備計画にともなって統合される学校は、学校名が異なっても同一校とみなす。

7 同一奏者が二つ以上の部門に重複して出場すること及び二つ以上の団体に所属することは認めない。

8 A部門の課題曲と自由曲は、同一のメンバーで演奏しなくてはならない。

9 指揮者の資格は問わないが、A部門の課題曲、自由曲は同一人が指揮すること。

なお、同一指揮者が同一部門の二つ以上の団体を重複して指揮することは認めない。

10 やむをえず指揮者を変更する場合は、当日受付終了時刻までに、指揮者変更届(地区長宛に理由を明記する。県吹連ホームページよりダウンロード可)を提出すること。

11 審査員の公表後は、審査員との一切の接触を認めない。これに違反した場合は、茨城県吹奏楽コンクール実施規定第 14 条に準ずる。

12 参加団体の資格に疑義あるときは、出場停止又は入賞を取り消すことがある。

【課題曲・自由曲及び演奏時間】

- 13 茨城県吹奏楽コンクール実施規定第9～12条に準ずる。
ただし、C部門においては自由曲のみ演奏し、演奏時間は7分以内とする。

【コロナ禍による不測の事態への対応】

- 14 コロナ禍による不測の事態により実演参加が不可能になっても、音源(SDカード)を提出することにより、審査対象とする。

【出演順、審査及び表彰】

- 15 出演順は地区事務局が行う抽選により決定する。
※ 合同で参加する場合は、抽選順の一番早い団体の抽選順を適用する。
- 16 審査は、本年度理事会の決定により5名の審査員で行う。審査員は主催者により選任し、地区総会以降、決定次第公表する。技術点・表現点それぞれの上下カットはしない。
- 17 A部門は課題曲、自由曲を同割合で審査する。
- 18 表彰は部門ごとに「優秀賞」、「優良賞」、「努力賞」のいずれかを贈る。
- 19 表彰式は行わない。各部門終了後に審査集計を行い、その結果は中央地区HPIに掲載するとともに、各団体には後日郵送にて発表する。

【審査基準】

- 20 次の集計方法を用いて順序を付け、各賞の判断基準とする。

- (1) 技術点・表現点の合計。
- (2) 同点により賞の決定や代表決定が困難な場合には、下記の方法により賞及び代表団体を決定する。
- ① 対象団体を比較し、審査員ごとの合計点を席次点に換算。順位合計が少ない団体を上位とする。
 - ② ①での順位合計が同じであった場合は、同点を付けた審査員にのみ該当団体に順位をつけてもらい、改めて席次点合計を算出し判定する。
 - ③ ②でも判定がつかない場合には、審査員全員の協議(投票)で判定する。

【地区代表推薦】

- 21 各部A・B部門の優秀賞を受賞した団体の中から茨城県吹奏楽コンクールへ地区代表として推薦する。
- ※ 推薦数は、本年度の各地区参加代表数を基準として、その年度ごとに決定される。
- ※ 茨城県吹奏楽コンクール出場締切前に地区代表に推薦された団体が出場不可能になった場合は、次点の団体が出場するものとする。

令和4年度 中央地区代表団体数一覧

中学校A	中学校B	高等学校B
7	9	3

第 62 回 茨城県吹奏楽コンクール

会場：ザ・ヒロサワ・シティ会館
(茨城県立県民文化センター)

8月 6日(土) 高等学校の部A部門

8月 7日(日) 大学の部、職場・一般の部

8月 8日(月) 中学校の部B部門

8月 9日(火) 小学生の部、高等学校の部B部門

8月 10日(水) 中学校の部A部門

[諸注意・諸連絡]

- 1 団体受付……決められた時間以前の受付は不可。受付時間に出演者代表者が下記の手続きをする。
 - (1) 団体受付に団体名、人数の変更等を報告し、参加負担金等を現金で納入する。
出場人数増の場合は個人参加負担金を精算する。減の場合は、出演者章を調整し返金はしない。
 - (2) 誘導開始予定時刻の変更有無を確認する。
 - (3) ステージ配置図=5部を提出する。(中央地区HPよりダウンロード可)
 - (4) 出演者章(出演者+指揮者)、プログラム(出演者分)、無料入場券(2枚+進呈プログラム2部)、出演団体団員入場券、楽器運搬人(顧問を含む)のリボン20人分を受領する。(合同出場の場合は、1校につき進呈プログラム1部を受領する。)
 - (5) 参加負担金等の領収書を受領する。
 - (6) 出演者代表者は、当日、すべての出演関係者の健康チェックを行い、同意書を受付に提出する。(中央地区HPよりダウンロード可)
 - (7) 入館するすべての出演関係者全員は、受付で検温後に入館する。 ※ 37.5℃以上の方は入場不可。
- 2 楽器置場……指定された時間内のみ利用し、演奏終了後はすみやかに搬出する。
 - (1) 指定された場所に各団体でまとめて置く。緊急避難時に備え、通路を確保する。
 - (2) 各団体の置いた場所に管理責任者を置く(ケースに目印を付け、小さくまとめて置く)。
 - (3) 演奏終了後はすみやかに搬出し、後の団体の使用に差し支えないようにする。
 - (4) 楽器の紛失、破損等の事故の責任は当連盟及び中央地区では負わない。
 - (5) 借用する楽器(ハープ、チャイム等)はステージ袖に準備してある。調弦等は使用団体で行うこと。
- 3 誘導……移動に際しては、マスクを着用し密集・密接に気を付けながら移動する。
 - (1) 各団体責任者は、誘導開始前に出演者章及び楽器運搬人のリボンを確認する(左上腕部に着ける。)
 - (2) 誘導開始時刻には、誘導受付に演奏できる状態で、密にならないよう気を付けながら集合する。
 - (3) 打楽器と管・弦楽器との誘導経路は異なる。
 - (4) 移動に際しては誘導係の指示に従い、密にならないよう気を付けながら敏速かつ静粛に行動する。
- 4 リハーサル及びチューニング……音出しは、方向、間隔及び結露水の処理に気を付けて行う。
 - (1) 指定された場所で指定された時間を利用して行う。指定以外の場所では絶対に音出しをしない。
 - (2) 管楽器奏者の音出し時には、各自専用の吸水マットやタオル等を準備し、結露水を床に捨てない。
 - (3) 会場内での打楽器チューニングは、打楽器搬入後に打楽器置き場で行う。ハープは楽屋前廊下でチューニングする。舞台裏でのチューニングはできない。
 - (4) ステージでは、演奏時を除き音を出さない。(ティンパニのチューニングも不可)
- 5 演奏……**今年度はステージの椅子・譜面台・指揮台は固定しない。**
 - (1) 指揮者・演奏者は、入場する際必要になるので常に出演者章を左上腕部に着けておく。
 - (2) 出演者は移動時にはマスクを着用し、演奏時のみマスクを外す。また、管楽器奏者は吸水マットやタオル等を準備し、ステージ床に結露水を捨てない。
 - (3) 前団体の演奏終了後、4分間で譜面台、打楽器等のセッティングを済ませる。
(打楽器が多い場合は、管楽器奏者に準備・片付け手伝いをしてもらうなどの工夫をする。)
 - (4) ピアノの位置は客席から見てステージの右(上手)側とする。また、ピアノは会場備品のため、通常のピアノ演奏を超えた弾き方(弦を直接弾く・たたく、ふたを取り外すなど)は禁止とする。
 - (5) ピアノ奏者は、演奏開始前及び終了後に、備え付けのアルコールによる手指消毒を必ず行う。
 - (6) ステージでは、演奏時を除きティンパニのチューニングを含め音を出さない。
 - (7) 指揮者は演奏者と同時に入場し、指揮台の横で待機しアナウンスを待つ。アナウンス終了後、指揮者のみ「礼」をし、直ちに演奏を開始する(出演者は着席のまま)。演奏終了後は演奏者を起立させ、指揮者のみ「礼」をして直ちに退場する。

- (8)各団体は打楽器の搬入・搬出が一度ですみやかにできるよう事前に十分指導しておく。搬入は**ひな壇の前を通す**。
- (9) 各団体のタイムキーパーは、ステージ下手側に2名(楽器運搬人を含める。)までおくことができる。
- (10) 譜面台は会場備品を使用するため、持参の必要は無い。

6 結果発表

- (1) 各部門終了後に審査集計を行い、その結果は中央地区HPに掲載するとともに、各団体には後日郵送にて発表する。表彰式は行わない。

7 録音録画・撮影

- (1) 著作権法により、当連盟が委託した業者以外の録音録画・撮影を禁止する。
- (2) 録音機・カメラ・ビデオはホール内への持ち込みができない。(持参した場合は、受付に預ける。)

8 ホール内の鑑賞

- (1)今年度は、一般の鑑賞を可とする。鑑賞には入場券(1,000円)が必要である。(学生券等はない。)プログラムは1部500円。指揮者と出演者は出演者章で鑑賞できる。また、出演団員以外が出演団体団員入場券による鑑賞も可とする(コロナ禍対応のため、演奏終了後のすみやかな退館を推奨する)。
- (2) 各団体には、無料入場券2枚(+進呈プログラム2部)を配付する。
- (3) 客席での飲食は、一切禁止とする。
- (4) 演奏中の私語、移動及び演奏後の歓声は、審査の妨げになるので厳に慎む。
- (5) 客席では、時計のアラームを解除するとともにスマートフォンを含む電子機器の電源を必ず切る。
- (6) A部門においては、課題曲と自由曲の曲間で拍手はしない。
- (7) 3歳未満の乳幼児は客席に入場できない。(今回はコロナ対策のために、母子室の使用は不可。)
- (8) 入館するすべての関係者全員は、受付で検温後に入館する。 ※ 37.5℃以上の方は入場不可。

9 駐車場

- (1) バス、トラックは係員の指示により、決められた場所に駐車する。
- (2) 一般客用駐車場を多く設けられないため、なるべく公共交通機関を利用する。

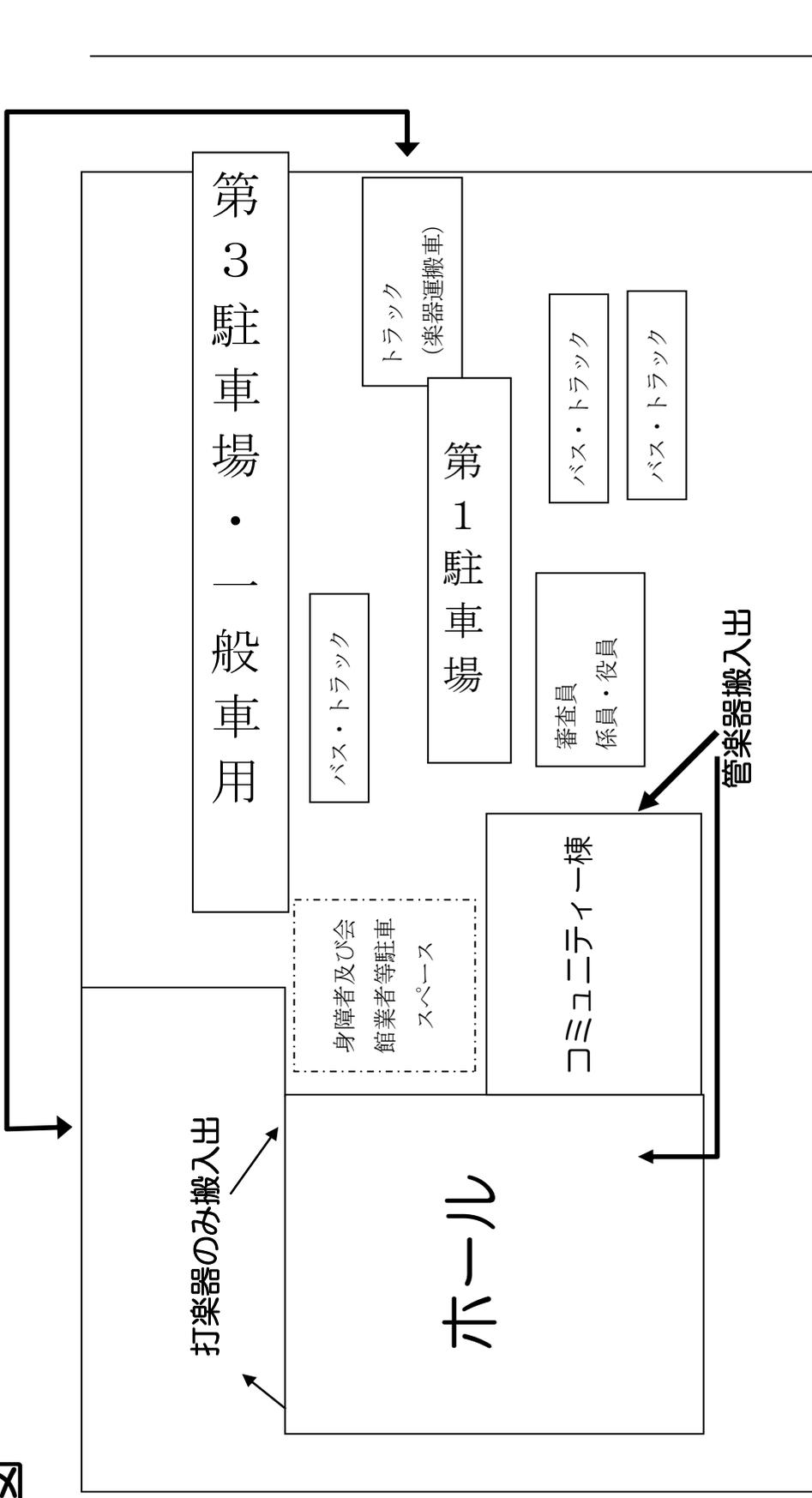
- 10 大会当日、コロナ禍による不測の事態により出場が不可能になった場合は、あらかじめ準備しておいた音源データを、受付時間までに提出することにより審査を受けることができる。音源データは SD カードで提出すること。

11 その他

- (1) 事前打合わせは行わない。
- (2) 各団体は、大会係員(補助員を含む)の指示に従って行動する。
- (3) 事故対策は、各団体で責任をもつ。
- (4) 天災、人災等を問わず非常事態が発生した場合、大会参加の可否については各所属長、団体長が判断する。その際、参加負担金等は後日納入すること。
- (5) その他、問題が生じた際は、各団体の責任者を通じて大会本部に連絡する。
- ※ 今後のコロナ感染症対策等に関する変更点等については、中央地区HP及びメールにてお知らせしますのでご確認ください。

※ 大会当日緊急連絡先 中央地区事務局主事(萩庭携帯 090-4718-5015)

会館配置図



第2駐車場 (引率・一般)

台数に限りがあります

ケーヨーD2

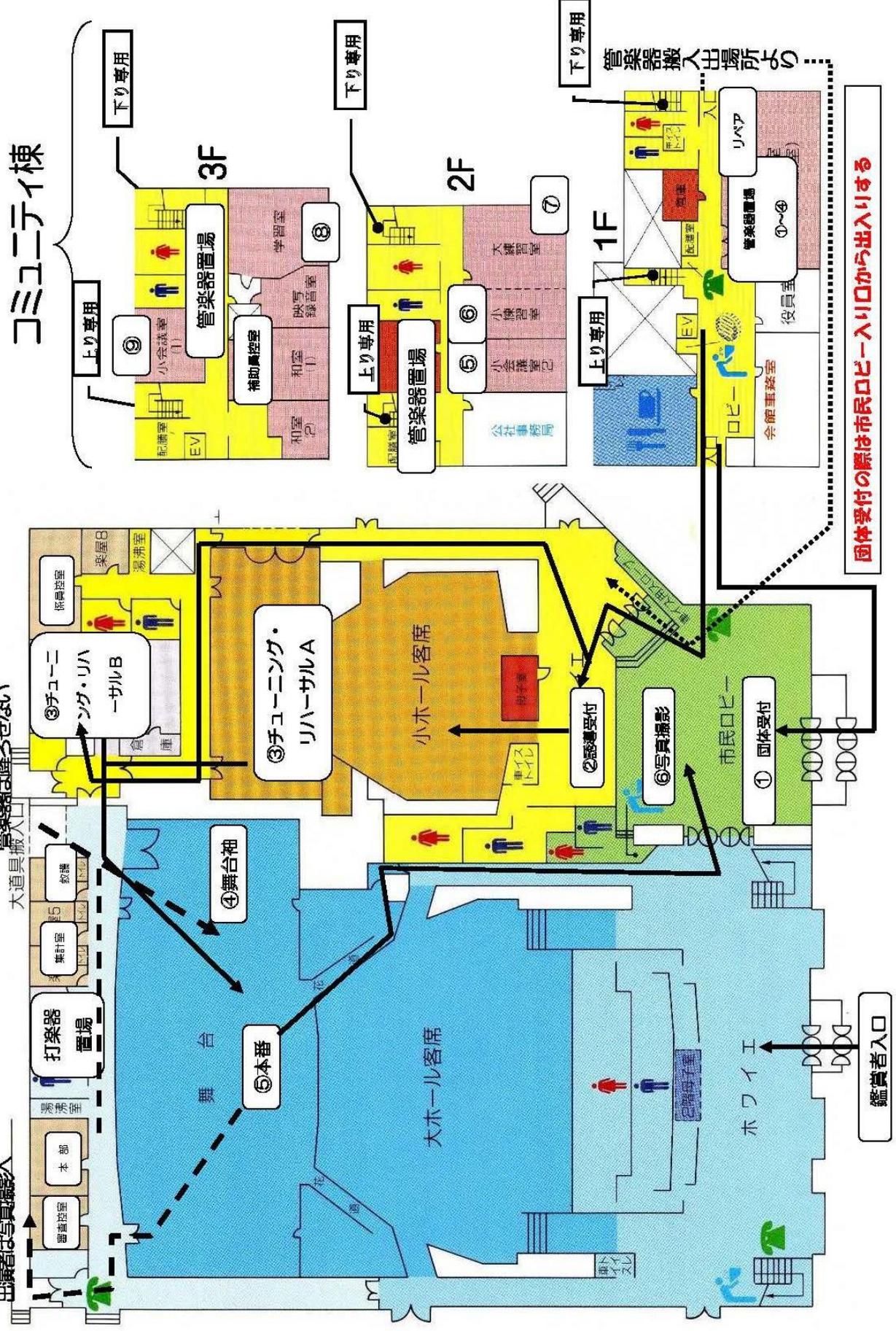
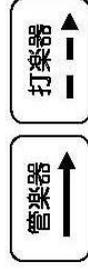
ツルハドラック

絶対に駐車してはならない!!

令和4年度第62回茨城県吹奏楽コンクール
第35回中央地区大会誘導経路図

打楽器のみ搬出
出演者は写真撮影△

打楽器のみ搬入
管楽器は降ろさない



コミュニティ棟

管楽器搬入出場所より...

団体受付の際は市民ロビー入り口から出入りする

鑑賞者入口

経路解説

出演者(本番まで)

- ア バス、楽器運搬車ともに会館わきの第1駐車場に駐車してください。警備員が誘導します。
- イ 第1駐車場で生徒は乗降してください。さらに、管楽器も降ろしてください。(楽器運搬車に打楽器と管楽器を一緒に積む場合は、最初に管楽器を降ろせるよう工夫してください。)
- ※ 楽器運搬車に管楽器を積まない団体はタイムテーブル通りの時間に楽器運搬車を直接裏手に回してもかまいません。
- ウ 出演者は①団体受付で全員検温を行います。管楽器は管楽器置き場に移動します。
- エ ①団体受付で受けとった打楽器運搬人用リボンか出演章を左上腕部に忘れずに着けてください。
- オ タイムテーブルに従い楽器運搬車を会館裏手に回し、打楽器を降ろし搬入します。①団体受付で受けとった打楽器運搬人用リボンか出演章を左上腕部に忘れずに着けてください。
- ※ 打楽器置場を経由してステージに向かいますが、楽器運搬車から打楽器置場までは、リボンは必要ありません。打楽器運搬人だけでなく、なるべく多くの人員で効果的にすばやく荷降ろしをしてください(ただし、打楽器置場からステージまではリボンが必要になりますので注意してください)。打楽器はステージ袖まで管楽器と別行動になります。
- ※ 打楽器のカバー、ケースは搬入口で外して、楽器運搬車にしまってください。打楽器置場にケースやカバーを置いておくことはできません。
- カ 管楽器は搬入後、決められた管楽器置場にてケースから出し(ケースは管楽器置場に演奏終了まで置いておくことができます)、タイムテーブルの誘導開始時刻までに演奏ができる状態で②誘導受付に集合してください。
- ※ 出演者章を左上腕部に着けることを忘れないでください。
- キ ②誘導受付より本番後の写真撮影までの誘導係員は付きません。③チューニング・リハーサルに進み、ステージ袖で打楽器と合流して本番です。スムーズに入退場ができるように(打楽器出し入れも含めて)よく練習しておいてください。

出演者(本番後)

- ア 管楽器は、上手花道より退場し、すぐに⑥写真撮影に向かいます。
- イ 打楽器は搬出場所より会館の外に出します。その後の積み込みは、お手伝いの方(打楽器運搬人でなくても可。楽器積込だけならリボンは必要ありません)をお願いして、出演者は速やかに⑥写真撮影場所に向かってください。
- ウ 楽器運搬車は搬出時間厳守で打楽器を仮積みして第1駐車場へ移動してください(第1駐車場で打楽器の積み直しを行うこともできます)。
- エ 写真撮影終了後、管楽器担当の生徒は管楽器置場に行き、楽器を片づけ、第1駐車場へ向かってください。打楽器担当の生徒は直接第1駐車場に行き、必要があれば楽器の積み直しを行ってください。

出演者(その他)

- ※ 打楽器の搬出場所は屋根がありません。各団体で雨対策をお願いします。(カバー、ブルーシート持参等)
- ※ 楽器運搬車に管楽器ものせてくる団体は、バスと一緒に第1駐車場に入り、初めに管楽器を降ろし、会館裏手に移動して次に打楽器を降ろすという手順です。乗務員に連絡・指導を徹底するとともに、荷降ろしの順序を配慮して積み込んでください。
- ※ 各団体で打楽器運搬人をなるべく多く依頼し(リボン着用は20人まで。楽器運搬車積み降ろし時にはリボンの必要はないので20人以上でも可)、打楽器運搬人と打楽器担当生徒で打楽器の積み降ろしが行えるように(管楽器の生徒が手伝わなくても大丈夫なように)してください。
- ※ 近年、打楽器運搬人のマナー低下が指摘されています。特に、卒業生等に依頼する場合、服装、態度等の指導も行っていただきますようお願いいたします。なお、ヒールのある靴、サンダル等は、運搬の際たいへん危険ですので、指導徹底をお願いします(保護者の方へもご連絡ください)。